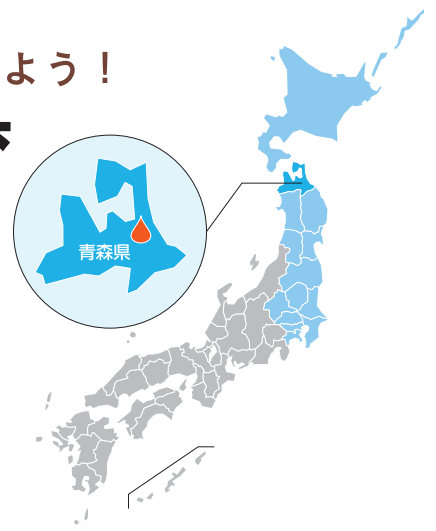


1 どうすれば水質改善ができるのか、考えてみよう！

# マリモから始まる環境教育 ～小川原湖編～



団体名 **小川原湖自然楽校**

主な活動地域 **青森県小川原湖周辺**

## 目的

魚種の豊富な汽水湖である小川原湖は、水草類も多様で、生息数の3分の1は絶滅危惧種とされる。最近、40年ぶりに※纏面型マリモも確認され、注目を集めたが、水質は悪化の一途。そこで小川原湖に流入する川の水質調査を行ない、どうすれば水質改善ができるかを観察会などを通じて地元住民と一緒に考え、住民、行政との協働で水質改善に取り組む。

※纏面型マリモ＝球状のマリモ。国内各地に分布するマリモは平べったいが、阿寒湖の一部と小川原湖のマリモは纏面型で珍しい。

## 実施内容

1年目は小川原湖に流入する川の一つを取り上げ、地域の小学校とタイアップして水質や生き物調査を行い、2年目は川の汚れを少なくする方法や生物が増える方法を考え、サンプルを作ってみる。3年目はそれを川で実際に製作し、効果をみる。その他にも小川原湖の水草を電子式の図鑑にし、上書き可能な状態で新しい情報を集めたり、湖に隣接する根井沼にある浮島を子供たちに探検させたり、ラムサール条約国際登録地である仏沼でオオセッカなどの野鳥観察会を催したりして、小川原湖周辺の環境に関心をもってもらう。また、環境教育の指導者養成のための講座やエコキャンプも実施する。

## 選考委員のひとこと

視察当日は夏だというのに、気温19度。終始、鳥肌でした。天気が良かったなら、広々とした小川原湖、周辺にあるたくさんの沼と1日あっても遊び足りないくらい自然豊かな所なのに。それにしても相馬代表のアクティブさ！環境に関する活動は県外にも及んでいる。

TOTO 信越支社 Aさん記

## ボランティアに参加しよう！

- ★水草図鑑の作成 2009年10月・12月
- ★古間木川での水質・水生生物調査 2009年11月
- ★仏沼での野鳥観察・水生生物調査 2010年 6月
- ★古間木川での水質改善プランニング 2010年 7月



プロジェクトの発端となったマリモを見る選考委員



ラムサール条約国際登録地・仏沼にて



根井沼の浮島はかなり移動する。今年は沼の右端に